

序章	3
----	---

一 戊辰内乱史研究の現状と課題	3
二 戊辰内乱という地点——佐幕から勤王へ——	7
三 分析視角と本書の構成	12

第1部 「官軍」の正当性

第1章 「官軍」と王権の表象	21
はじめに	21
一 錦旗の登場	23
二 日月旗の運用にみる儀礼	25
三 識別標識としての菊章旗	28
四 「官軍」の演出	33
小括	36

第2章 公家の位置——鷺尾隆聚を中心に——

はじめに.....43

一 政治意識の発露と政局への登場.....45

(1) 慶応三年四月議奏・武家伝奏辞任一件

(2) 慶応三年八月倒幕挙兵計画

二 高野山出張と内乱の勃発.....54

三 戊辰内乱における公家の位置.....57

小 括.....62

補 論 榎本軍首脳部処分問題にみる「朝敵」寛典の論理.....68

はじめに.....68

一 ブリュネラの処分と対仏交渉.....70

二 処分決定の延期.....74

三 黒田清隆の寛典論と木戸孝允の厳罰論.....78

四 榎本軍首脳部の赦免.....81

小 括.....85

第2部 旧幕府抗戦論の限界

第3章 旧幕府抗戦論の正当性	93
はじめに	93
一 江戸府下における佐幕論の展開——大政奉還から慶応三年末まで——	95
二 開成所会議での抗戦論	99
三 天皇權威をめぐる	104
四 「神君」徳川家康への回帰	107
小括	110
第4章 堀田正倫の上京——藩士の日記を素材に——	116
はじめに	116
一 佐治三左衛門日記について	117
二 「哀訴状」の目的	120
三 正倫上京の趣旨	123
四 滞京から帰国まで	127
小括	131
第5章 「朝敵」藩の恭順理論——伊予松山藩を事例に——	137
はじめに	137
一 鳥羽・伏見の戦い前後	139

二	藩是決定までの道程	141
三	松山開城	149
四	征討軍内の不和	152
五	領民の「朝敵」意識	155
小	括	158

第3部 社会集団の欲求と草莽隊

はじめに	168
------	-----

第6章 神職集団の武装化	175
--------------	-----

一	吉田家本所と神威隊結成	175
二	神威隊結成の背景	180
三	神職の武装化	184
四	配下神職への影響	190

第7章 草莽隊の上昇志向——下野利鎌隊を事例に——	199
---------------------------	-----

一	利鎌隊の構成	199
二	社会集団と身分表象	202

(1) 城内帯刀一件

(2) 壬生氏旧臣団の上昇願望

三 利鎌隊の変容……………	208
四 旧日光奉行所同心との確執と活動の終焉……………	211

第8章 地方大社の勤王運動——香取神宮尚古隊——……………	221
-------------------------------	-----

一 朝廷権威への傾斜……………	221
-----------------	-----

二 尚古隊の結成……………	225
---------------	-----

三 尚古館と上昇志向……………	229
-----------------	-----

四 騒動の鎮圧……………	231
--------------	-----

小 括……………	241
----------	-----

第4部 地域の葛藤

第9章 関東農村の佐幕的状况——上総国を中心に——……………	245
--------------------------------	-----

はじめに……………

一 旧幕府軍への支援……………	247
-----------------	-----

二 佐幕的空氣醸成の要因……………	250
-------------------	-----

三 撤兵隊敗退後の情勢……………	255
------------------	-----

四 「味方」から「賊」へ……………	258
-------------------	-----

小 括	263
-----	-----

第10章 旧旗本阿部詮吉郎の朝臣化と知行所——農兵隊の動向を中心に——	270
はじめに	270

一 旗本阿部家と幕末期の軍役	272
----------------	-----

二 内乱勃発と農兵取立	276
-------------	-----

三 阿部詮吉郎の朝臣化と農兵隊の位置づけ	280
----------------------	-----

四 領主との一体化と離断	284
--------------	-----

小 括	287
-----	-----

終 章——結論と展望——	293
--------------	-----

主要参考文献

あとがき

索引（人名・事項）

あとがき

本書は、二〇一一年度に中央大学へ提出した博士学位請求論文「戊辰内乱期の政治的社會状況」をもとにして上梓したものである。本書を構成する各章の初出は、左の通り。本稿執筆にあたって、初出論文に大幅に加除・修正を加えたことをお断りしておく。

序 章 新稿

第1部

第1章 新稿

第2章 新稿

補 論 「箱館戦争における榎本軍首脳部処分問題」(松尾正人編『幕末・明治期名家書簡草案——史料と研

究——』中央大学近代史研究会、二〇〇九年)

第2部

第3章 新稿

第4章 「慶応四年堀田正倫の上京——藩士の日記を素材に——」(『佐倉市史研究』二五、二〇一二年)

第5章 「戊辰戦争期における「朝敵」藩の動向——伊予松山藩を事例として——」(中央大学大学院文学研

究科編『大学院研究年報 文学研究科篇』三九、二〇一〇年)

第3部

第6章 「戊辰内乱と吉田家本所——神威隊を中心に——」(『日本歴史』七三五、二〇〇九年)

第7章 「戊辰戦争期における「草莽隊」の志向——下野国利鎌隊を事例として——」(『地方史研究』三四四、二〇一〇年)

第8章 「戊辰戦争と香取神宮」(『千葉県文書館』一四、二〇〇九年)

第4部

第9章 「戊辰戦争期における上総国農村の「佐幕」的動向」(『千葉史学』五五、二〇〇九年)

第10章 新稿

終章 新稿

本来であれば、博士論文の著書の「あとがき」では、これまでの研究人生を大なり小なり振り返るのである。だが、わたしは道半ばどころかようやく指導教授のもとを離れ、研究者として独立したばかりであり(といっても完全に独り立ちしたとは言いがたい)、大仰に回顧すべきことはまだない。そんな中、このような未熟な研究成果を発表して良いのか不安は小さくない。それでも本書の刊行に踏み切れたのは、周囲の方々の励ましによるところが大きい。感謝の言葉をもって本書の結びにかえたい。

本書の執筆にあたっては、多くの史料所蔵者の方々および博物館・文書館などの史料所蔵機関に多大なるご助力を賜った。研究活動を進める中では、学部以来の指導教授であり、いつも助言をいただいている松尾正人先生をはじめ博士論文の副査を担当していただいた佐藤元英先生、奥田晴樹先生、大学院で複数年にわたりご指導を受けた渡辺隆喜先生、佐藤孝之先生ほかたくさんの方々に「ご指導をいただいていた。多くのよき師に巡り会えたことは、才能に恵まれないわたしにとって僥倖であった。」

歴史学の基礎となる史料調査の手法を学んだ場所は、須田努さん・白井哲哉さんが主催する埼玉県飯能市の史

料調査会であった。同調査会に参加し、牛米努さん、尾崎泰弘さんから地域史研究のノウハウを学べたことは貴重な財産である。渡辺尚志さんたちと進めてきた台方村研究会や、牛米さんにお誘いいただいた近代租税史研究会も血となり肉となっている。飯能の調査会や渡辺隆喜先生のゼミに誘ってくれたのは、ともに大学院で学んできた親友でありライバルでもある清水裕介君である。清水君のほかにも長い時間を一緒に過ごした大学院の同期や先輩・後輩は、かけがえのない存在となった。また、著者が所属する学会、特に明治維新史学会、歴史学研究会、日本アーカイブズ学会では、先輩・後輩を問わず、研究者仲間から常に刺激を受けている。つまづくこともたびたびあるが、こうした人たちに支えられて研究をつづけてこられた。公益財団法人徳川記念財団からいただいた第九回徳川奨励賞も勇気と自信を与えてくれた。

かつての職場、千葉県文書館の上司・先輩・同僚・後輩には退職後も気遣っていただき、叱咤激励されてきた。千葉県文書館で過ごした四年間は、何ものにもかえがたい宝物である。現在の勤務先である宮内庁書陵部でも、さまざまな場面でみなさまに助けられている。わたしは、非常にぜいたくな環境で研究活動に取り組むことができたのだと今改めて実感している。

全員のお名前はあげられないが、みなさまのおかげで拙いながらも本書をまとめることができた。

また、本書の刊行に当たっては、鹿内浩胤さんに思文閣出版の田中峰人さんをご紹介いただいた。田中さんは、初めての著書刊行で右も左もわからない私に「この博士論文は、是非とも刊行したいと思っています」といつていただき、とても心強かった。思文閣出版のみなさまそして田中さんを紹介してくださった鹿内さんに深く感謝します。

何より、就職が保証されているわけでない歴史研究者としての道を選択することを何もいわずに許してくれた両親、いつも笑顔で支えてくれる妻さやか、さやかとわたしを見守ってくれる義父母、わたしに毎日幸せを届け

てくれる長女ひなたのおかげで何とか大好きな研究をつづけられている。

お世話になったすべての方に心より感謝申しあげるとともに、一層研究に邁進することを誓い、一旦筆を擱きたい。

二〇一五年十二月 母校中央大学の書庫にて

宮間 純一

房総知県事(上総房州監察兼知県事)	
232, 233, 246, 253, 256, 259, 276, 282,	
286, 287	
北陸道鎮撫総督	30, 31, 43
ま	
前橋藩	105, 252, 254, 257, 260
松山城	
142, 147, 149, 150, 153, 154, 157, 158	
み	
三上藩	254
三河吉田藩	50
御崎宮	191
水戸藩	50, 96, 97, 222, 236
水口藩	28, 29, 177, 178
壬生氏旧臣団	201, 202, 206～209, 213
壬生藩	109, 200, 203～206, 208
宮古湾海戦	71
宮谷県	287, 288
宮津藩	140, 141
妙心寺	126～128, 130
も	
守山藩	176
文武天皇	25
や	
靖国神社	25
大和大明神	183
ゆ	
結城城	225
結城藩	10, 225, 296
遊撃隊	247, 248, 252, 256, 276
よ	
吉田家本所	171, 172, 175～178, 180,
182～185, 188～191, 193, 200～205, 221,	
241, 260	
吉田社	176, 185
吉田藩	257
米沢藩	105

り	
陸援隊	26, 44, 47, 50, 51, 54, 55, 62
稜威隊	171, 193
輪王寺	105
わ	
鷲大明神	205
鷲尾隊	26, 45, 54～57, 170
鷲宮大明神	200

と	
東海道先鋒総督兼鎮撫使・東海道鎮撫総督	35, 43
東海道先鋒総督府・東海道鎮撫総督府	31, 123, 125, 126, 256, 257
東京城	27, 37, 236, 283
東幸	27, 37, 235, 283, 299
東山道鎮撫総督	43, 60
東山道鎮撫総督府	31, 60
東寺(教王護国寺)	23, 33
東照宮	27, 105, 109, 110, 201
東征大総督	4, 26, 27, 34, 36, 122, 191, 200, 210, 226, 257
東征大総督府	34, 44, 57, 105, 121, 125～127, 200, 208～210, 227, 235, 257, 260, 281, 282
討幕の密勅	54
東北戦争	103, 137, 236
利鎌隊	171, 199～202, 208～213, 241, 242, 296, 298
土佐藩	24, 29, 44～46, 51, 54, 55, 71, 78, 95, 97, 139, 141, 149～155, 157～159
十津川郷士	44, 54, 55
鳥取藩	50
鳥羽・伏見の戦い	5, 9, 21, 23, 24, 36, 93, 94, 99, 103, 120, 121, 139, 141, 143, 175, 188, 293
鳥羽藩	140, 141

な	
内侍所(賢所)	175, 177～179, 183, 184, 190, 191
中瀧陣屋	272, 278, 280, 285
南北戦争	73, 82, 83

に	
新谷藩	29
西本願寺	49, 50, 178
二条城	139
偽官軍事件	170, 242

の	
延岡藩	140, 141
は	
廃藩置県	138, 299
廃仏毀釈	175
ハウエル商社	71
伯太藩	55
箱館	4, 68, 71, 72, 75, 78, 79, 82, 86, 252
箱館戦争	5, 68, 69, 73, 76, 78, 79, 81, 85, 103
八幡宮	193
塙大隅	233
浜松藩	125
治田神社	190
版籍奉還	286

ひ	
日尾八幡宮	148, 157
永川神社	235, 236
彦根藩	110
肥後藩	50
肥前藩	61
備前藩	29, 46, 47
備中松山藩	29, 137, 141, 151
姫路藩	141
日吉社	175, 191

ふ	
福山藩	29, 141, 152, 154, 155
二荒山神社	299
復古学館	182, 184, 185
復古記	3～5, 168

へ	
兵賦令	273
ペリー来航	185, 222, 226

ほ	
報国隊	171, 193, 250, 299
房総三国廻達頭	257

日月旗 25~30, 33~37, 55, 56
 彰義隊 99, 103, 105, 225, 255, 256, 258~
 260, 264
 承久の乱 25
 尚古館 226~231
 尚古隊 221, 228, 229, 231~236, 241, 242
 請西藩 247
 常信寺 150, 154, 157
 浄徳寺 232
 庄内藩 98, 103, 121
 常楽寺 201, 206~208
 諸社禰宜神主法度 183, 184
 白川家本所 193
 神威隊 175~180, 183, 184, 188~191,
 193, 199, 241, 260
 新宮藩 55, 96
 神職隊 171
 新撰組 49~51, 103, 225
 神風隊 171, 260
 神仏判然令 208, 226, 299
 新聞会 95
 神武天皇 236

 す

 諏訪大社 236

 せ

 征夷大將軍 27
 星宮大明神 209, 210
 征討大將軍
 21, 23, 25, 26, 43, 104, 140, 152, 293
 征討府 25, 33, 34, 152
 西南戦争 44
 赤心隊 171, 193
 赤報隊 170, 242
 膳所藩 95
 節刀 21, 23, 25~28, 33~35, 293
 仙台藩 29, 105
 選擇寺 247
 泉涌寺 130
 善福寺 257

そ

 惣持院 232
 総房三州鎮靜方
 225, 226, 228, 233, 279, 280
 草莽・草莽運動・草莽隊・草莽諸隊
 4, 10, 14, 15, 23, 43, 44, 62, 168~172,
 175, 191, 193, 199, 241, 242, 246, 296~
 299
 蒼龍隊 170, 171, 299

 た

 大嘗会 83
 大政奉還 4, 9, 27, 95, 96, 98, 99, 110,
 120, 125, 140, 255
 第二次幕長戦争
 26, 28, 97, 154, 188, 249, 273
 高取藩 55
 高松隊 170, 242
 高松藩 29, 137, 140, 141, 149
 手力雄大明神 260
 田町神明宮 193
 田原本藩 55

 ち

 筑前藩 35
 中国四国追討総督 26, 43, 152
 長州藩 3, 10, 21~25, 28, 30, 33, 36, 44,
 57, 78, 79, 83~85, 97~99, 102, 105~
 107, 111, 123, 141, 152~155, 159, 160,
 293, 295
 徴兵令 169
 長楽寺 250

 つ

 津藩 56, 139, 141

 て

 天山神社 157
 伝習隊 109, 110
 天誅組 55, 56

奥羽列藩同盟・奥羽越列藩同盟

	5~7, 105, 137
王政復古	61, 125, 183
王政復古政府	9
大垣藩	140, 141
大坂城	44, 55, 56, 140, 143
大坂親征行幸	175, 178, 189, 299
大洲藩	154
大多喜藩	128, 137, 151, 250
岡山藩	141
雄琴大明神	200~202
忍藩主	272
小田原藩	84, 121
小浜藩	140, 141
小見川藩	232, 233
生実藩	257
尾張藩	24, 95, 96, 296

か

開成所	94, 99, 102~104, 107, 111, 120, 121
加賀藩	105
花山院隊	170
鹿島神宮	228, 236
鹿島神武館騒動	233
香取神宮	221, 222, 224~229, 231, 233, 235, 236, 241, 242, 279, 296, 298
賀茂大神宮	185
仮建	29
寛永寺	94, 103, 105, 106, 121

き

菊章旗	25, 26, 28~33, 36, 37, 150
紀州藩	55~57, 95~99, 103, 105, 120, 121, 147
岸和田藩	55
九州鎮撫総督	43
旧日光奉行所同心	211~213, 241
居之隊	170
錦旗	21~25, 29, 36~38, 43, 56, 63, 105, 107, 110, 293
錦旗奉行・旗監	33~35, 152
錦布(切・裂)	31

く

久留米藩	22
久留里城	249
久留里藩	247, 249, 257, 288, 299
桑名藩	46, 50, 54, 95, 99, 103, 107, 108, 110, 137, 141, 143

け

芸州藩	24, 25, 29, 33, 34, 97, 141
-----	-----------------------------

こ

小泉藩	55
公議政体派	24
高野山	26, 44, 45, 51, 54~56, 62
郡山藩	55
御学問所	26, 28
五箇条誓文	9, 299
小御所	26, 27, 130
御前会議	76, 77
胡蝶隊	149
五稜郭	79

さ

堺事件	71
佐倉藩	35, 95, 103, 117, 118, 120~124, 126~128, 130, 131, 138, 257
佐々貴社	190
撒兵隊	110, 128, 225, 245, 247~253, 255, 256, 258~260, 264, 276, 278, 297
薩摩藩	3, 10, 21~25, 28, 30, 33, 34, 36, 44~47, 49, 50, 57, 78~80, 84, 85, 97, 98, 99, 102, 104~107, 111, 141, 160, 182, 293, 295
薩摩藩邸浪士隊	98
佐貫城	257
佐貫藩	257
佐野藩	121
山陰道鎮撫総督	43, 140

し

四侯会議	45
静岡藩	270, 281, 287

森友伊豆 201

や

柳原前光
46~48, 125, 127, 128, 250, 255, 259, 281
柳原光愛 182
矢野玄道 182
山岡将曹 50, 51
山岡鐵太郎 93
山崎丞 49
山内豊信(容堂) 24, 45, 152
山本一郎 51
山本甚五郎 142
矢守平好 33, 34

よ

横山鯨三郎 210
吉田収蔵 212
吉田良義 176~178, 180, 182~184, 241
吉村寅太郎 55
吉村春峯 155
吉原多仲 234
依田七郎(学海、百川) 35, 95~99, 103,
117, 118, 120, 121, 123, 127~129

り

龍王院堯忍 105
輪王寺宮公現法親王 104~107, 111, 295

ろ

六条有容 46
ロッシュ 72, 73

わ

鷲尾隆聚
26, 36, 43~51, 54, 55, 57, 61~63
鷲尾隆賢 44

【事 項】

あ

会津征討越後口総督 26, 27
会津藩 5, 29, 50, 76, 81, 82, 95, 99, 103,
105, 109, 119, 121, 137, 141, 143
姉崎藩 257
安房神社 236

い

飯野藩 256, 257
磯山大明神 203, 204
一宮藩 247, 257
稲田騒動 297
稲田藩 233
因幡藩 46, 47, 50, 141
伊吹隊 171
伊予松山藩 29, 104, 122, 137, 139~141,
143, 144, 147~160, 288
岩倉遣欧使節団 82~85
岩倉公実記 22
石清水八幡宮 28

う

上田藩 121, 128
上野戦争 94, 106, 200, 255, 258, 264, 281
宇和島藩 24, 28, 45, 125, 152, 154

え

蝦夷地 70
越前藩 24, 45, 104
江戸開城 5, 93, 95, 211, 225, 245, 276
江戸城 99, 103, 105, 138, 143, 250, 283

お

奥羽征討白河口総督 44, 57
奥羽鎮撫総督府 57, 57
奥羽追討総督 44, 57

菱沼紀伊	200
菱沼主水	205
一橋茂栄	107
人見寧	247
日野資宗	47
平田鉄胤	229
平野重久(縫殿、知秋)	118~120, 127, 129, 138
平松時厚	33
広橋胤保	46
ふ	
ブルーフィエ	71
フォルタン	71
深尾刑部	149
深尾左馬之介	151~153
深見左源太	149
福澤諭吉	81, 82
福田八郎右衛門直道	225, 247, 250
福田雄八郎	95
藤井良節	50
藤江司	273, 275, 278, 284~286
藤江弥惣治	273, 278
藤田久蔵	142, 147
ブリュネ	69, 71~77, 85
ほ	
堀田正倫	103, 117~121, 123, 125~127, 129, 130, 132
堀田正睦	119, 127, 131
本多勘解由	50
本多敏三郎	96, 99
ま	
前田齐泰	105
前田慶寧	105
真木保臣(和泉)	22
増田虎之助	79
松岡磐吉	74
松崎仁右衛門	273
松下小源太	147
松平確堂	119
松平容大	81

松平容保	50, 76, 77, 81, 84, 105, 107, 137
松平勝成	139, 140, 148, 150, 156, 158
松平定敬	46, 50, 107, 108
松平定昭	139~144, 147, 148, 150, 151, 154~158
松平定勝	139
松平太郎	71, 74, 84
松平直克	105
松平慶永(春嶺)	24, 30, 45, 47, 104
松平喜徳	105
松本実太郎	157
松屋吉兵衛	222
万里小路局	250
万里小路博房	176, 177
マルラン	71
み	
三上是庵(新左衛門)	151, 152, 156
水野主殿	149, 150, 152
水野勝知	225
壬生(官務)孝亮	201
壬生基修	57
壬生義雄	201, 206, 207
宮亀年	119
宮川弾正	204
宮本信濃	191
三輪田恒次郎(高房)	141~144, 147, 148, 151, 155~158
三輪田米山	148, 155, 157, 158
む	
六人部是愛	180
村上鉄四郎	212
村田宮之丞	222, 224
め	
明治天皇	8, 26, 27, 36, 105, 107, 130, 131, 156, 175, 202, 209, 235, 236, 283
も	
本山只一郎	154, 157
森勝蔵	249, 299
森下孝一郎	227, 228, 231, 233, 234

高松実村	43
武内孫助	95~99, 102, 105, 120
武田信愛	81, 82
伊達宗城	24, 45
伊達慶邦	29, 105
田中鼎助	33
田辺嘉右衛門	279
谷森善臣	180
玉松操	22
田村右門	123, 125, 127~129
ち	
長慶天皇	61
て	
手代木直右衛門	50
寺島宗則	72, 73, 76
デロンゲ	83
天璋院	93, 104
と	
藤堂高猷	56
徳川家茂	27, 50, 188, 273
徳川家康	27, 109~111, 139, 201, 224, 294
徳川亀之助	281
徳川茂承	55, 105
徳川慶篤	97
徳川慶勝	24
徳川(一橋)慶喜	9, 21, 27, 44, 45, 47, 50, 55, 76, 77, 80, 84, 93, 94, 97, 99, 102~105, 107~111, 120~123, 126, 131, 140, 141, 143, 144, 147~150, 152, 158, 159, 251, 279, 287, 293, 298
常世長胤	211
外山光輔	79
豊臣秀吉	82, 201
な	
内藤素行(鳴雪)	144, 152
永井玄蕃	74
中岡慎太郎	47, 48, 51
中沼了三	33
中院通富	176

中村武雄	107, 108
中山左馬之介	153
中山忠光	55
中山忠能	48, 54, 177, 180
鍋島道太郎	212
ナポレオン三世	72, 73
に	
ニコール	71
錦小路頼徳	57
二条斉敬	46, 47, 48
仁孝天皇	104, 107
仁和寺宮嘉彰親王	21, 23~27, 33~35, 43, 50, 55, 104, 140, 152
ぬ	
額賀右膳	232, 234
の	
野中出雲	205
野宮定功	46~48, 182
野村精一郎	212
は	
パークス	46
橋本実梁	35, 43, 125
羽田野敬雄	193
八条隆祐	46
浜路吉左衛門	281
葉室長順	47
林玖十郎	125
林忠崇	247, 250, 255
林豊前	203
早瀬佐十郎	201, 202
早瀬内匠	49
春山弥兵衛	33
伴門五郎	99
ひ	
東久世通禧	33, 57
樋口多蔵	49
久松静馬	149
土方歳三	103, 109

こ	
孝昭天皇	299
広如	49
孝明天皇	27, 104~107, 111, 222, 293, 295
久我通久	29
五条為栄	26, 33
児玉掃部	190
後鳥羽上皇	25
近衛忠房	46~48, 180
小松帶刀	47
後村上天皇	61
後陽成天皇	27
コラッシュ	71
近藤勇	103, 225

さ	
西園寺公望	43, 57, 140
西郷隆盛	8, 9, 23, 25, 36, 44, 50, 55, 79, 80, 82, 84, 86, 93, 98, 104
斉藤太一郎	248
斉藤政右衛門	95
榊原耿之介	96, 99, 120
相楽総三	98
笹岡半蔵(岡田範三)	50
佐佐木高行	78, 79
佐治三左衛門(三七、茂右衛門、延年)	119, 120, 124~128
佐藤雄之助	74
沢為量	57
沢太郎左衛門	74
沢宣嘉	43, 57, 73
三条実美	23, 24, 43, 57, 77~80, 130, 178
三条西季知	57
三宮義胤	51, 54
三本木鎗三郎	178

し	
滋野井公寿	43, 46, 47, 49, 63, 188
滋野井実在	46, 47, 50
四条隆譚	26, 33, 43, 57, 152~154
四条隆貞	61
四条隆資	61

四条隆俊	61
四条隆平	30
信太歌之介	225, 279
品川弥次郎	22, 57
柴山典(文平)	232, 246, 253, 255, 257~259, 276, 282
渋沢成一郎	74
嶋田太市	281
島津久光	45
シャノアンヌ	71
重城保	248, 249, 252, 254, 255, 257~260, 297, 299
樹下茂国	180
白井五郎大夫	119
白井新太郎	119
白川資訓	180, 183, 226, 227

す	
菅沼元八	176
杉孫七郎	153, 154
鈴鹿信濃	178
鈴鹿弾正	189
鈴木三郎	253
鈴木七右衛門	149
鈴木慎三郎	210, 213

せ	
静寛院宮	93, 104, 105, 107, 111, 281, 295
仙石丹次郎	74

そ	
副島種臣	77, 78, 80, 82
曾我祐準	79
十河艦次郎	104

た	
醍醐忠敬	57
高木主膳	234
高倉永祐	30, 43
高崎正風	33, 34
高島秋帆	275
高貫武治	278
高橋山城	212

榎本こと	81
榎本武揚(釜次郎)	
68～70, 72～86, 247, 248, 298	
お	
大江卓(斎原治一郎)	26, 55
大垣源五郎	207
正親町公董	46, 47, 49, 50, 54, 57, 63
大久保一翁	103, 104, 121
大久保忠礼	84
大久保利通	
8, 22～25, 36, 61, 77, 80, 81, 83, 84	
大久保春野	299
大河内正質	128
大崎遠江掾	207
大鳥圭介	71, 74, 83, 109, 110
大橋采女	205
大橋慎三	51, 54
大村益次郎	72, 79
小笠原唯八	149, 150, 153, 154, 157
尾形大内蔵	234
尾形右門	232, 234
尾形織部	234
岡田清右衛門	96
岡本武雄	54
小倉弥学	127
小栗忠順	99, 103
刑部善十郎	201, 202, 211, 212
尾崎万太郎	147
愛宕通旭	79
か	
香川敬三	26, 44, 51, 54～56, 60
柿沼広身	299
覚王院義観	105
花山院家理	43
カズヌーヴ	71
勝海舟(安房)	
93, 103, 104, 121, 225, 248, 279	
桂四郎	79
加藤明実	177, 178
加藤弘蔵(弘之)	121
香取上総(實蕃)	222, 225, 232

香取左織	226, 232
香取式部	222
香取泰輔	221, 225, 229, 231～235
香取内匠	226
香取中務(保房)	222, 225, 232
香取春稔	222
香取久次	234
香取民部	234
金子伊予	203, 205
金子平十郎	149, 152
神山魚貫	229
亀井茲監	190, 191
烏丸光徳	33, 34
軽部甚兵衛	201, 202
川路利良	81
川端助次郎	249

き

北島秀朝	60
木戸孝允	61, 72, 78, 79, 83～85
木村杉太郎	227, 228, 231～234

く

日下主税道章	190
日下部要人	147, 148
九条道孝	46～49, 57, 60
楠木正成	61
久世通熙	46
国保斎宮	205
熊田庄之助	176
クラトー	71
倉次甚太夫	121～123, 128
黒川勝匡	203～206
黒川勝久	203, 204
黒川勝正	209
黒川伝兵衛	204
黒川豊麿	199～202, 209, 211～213
黒川豊前	201, 202
黒田清隆(了介)	57, 69, 78～80, 83, 85, 86
黒田直養	249
桑田藤蔵	285, 286

索引

【人 名】

あ

青木幸躬(条右衛門)	210～212
秋月悌次郎	109
浅野茂勲	24
阿部邦之助	225, 277, 279, 280, 282
阿部鍵次郎(蒼山)	273
阿部詮吉郎(式部)	271～273, 276, 279～281, 283～287, 297
阿部徳次郎	277
阿部正明	272
阿部正員	272
阿部正武	272
阿部正恒	257
阿部正房	272
阿部正能	272
天野弥市	50
綾小路俊実	43, 188
荒井郁之助	74
有栖川宮熾仁親王	26, 34, 35, 37, 122, 125, 177, 180, 191, 200, 209, 210, 226, 227, 257

い

井家吉之介	278
飯笹修理之介	225
飯篠盛貞	230
飯田鞭児	96
井口重太郎	49
池大六	51
池田庄次郎	125

石井石見守昌道	260
石原良之助	149
和泉屋伝吉	49
伊勢亀	201
石上伊織	234
板垣退助	78
板倉勝静	47
市磯相模守	183
市川耕三	249
一条実良	46～48
伊藤荘司	234
伊藤大学	234
稲葉正邦	96
井上石見	50, 182
伊能穎則	229～231, 236
伊庭八郎	247
今泉葩	232, 234
岩倉具定	43, 51, 60
岩倉具綱	51
岩倉具経	60
岩倉具視	22～24, 43, 51, 54, 56, 57, 60～63, 72, 77, 78, 84, 104, 130, 177, 178
岩谷屯	29

う

上杉斉憲	105
上野初三	102
植松雅言	190
ウエンリート	71
宇賀神左近	205
宇田栗園	60
内山量平	234
ウトレー	72, 73, 83

え

榎本おらく	81
-------	----